

# 家畜衛生だより

From 中央家保 牛用

中央家畜保健衛生所・中央動物防疫協議会  
〒262-0011 千葉市花見川区三角町656  
Tel: 043-250-4141 (夜間・休日対応)  
Fax: 043-286-0090  
(公社)千葉県畜産協会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

## 県内で牛サルモネラ症が発生しました！

5月に安房地域の酪農家1農場で牛サルモネラ症が発生しました。  
本病は4月に管内でも発生があり、注意が必要です。

これから暑さによりサルモネラが増殖しやすくなると同時に、牛の体調も不安定になります。まん延を防ぐためにも飼養衛生管理基準の遵守をお願いいたします。

### サルモネラ症の症状

#### ●子牛●

- 元気消失    ○食欲不振～廃絶    ○発熱 (40～42℃)
- 下痢 (悪臭がある。泥状～水様便。悪化すると血便。)

\* 症状なく突然死することがある。

\* 肺炎や関節の腫れが見られることがある。

1カ月齢以下の幼弱牛が最も感染しやすく、症状も激しく、死亡率も高い。

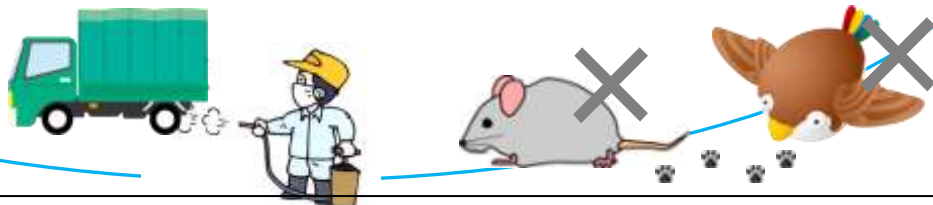
#### ●成牛●

- 症状は子牛と同様(発熱・下痢→悪臭のある黄色水様下痢～粘血便)
- 乳量減少    \* サルモネラ・ダブリンでは早産・死流産を起こすことがある。  
分娩後がもっとも発症しやすい。悪化すると死亡することがある。

### 予防のために

- ・車両、靴底の消毒徹底 (踏み込み消毒槽設置など)
- ・感染源となる野鳥、野生動物、害虫の侵入防止、駆除
- ・牛舎内外の清掃、消毒    ・導入家畜の一時隔離

またサルモネラは人にも感染します。作業後は手指をよく洗いましょう！



お問い合わせは 千葉県中央家畜保健衛生所まで

TEL. 043-250-4141 (夜間・休日転送)

FAX. 043-286-0090

# 牛ウイルス性下痢・粘膜病(BVD-MD) 清浄化のための事業が始まります



## BVD-MDとは



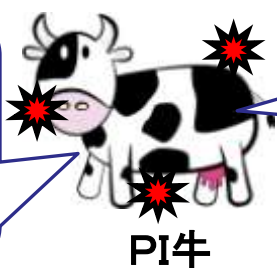
ウイルス感染により下痢や呼吸器症状、異常産を起こす伝染性疾病です。特に問題となるのが、持続感染牛の存在です！

### 持続感染牛(PI牛)

- ・抗体のない妊娠牛が胎齢60～120日に感染すると、PI牛が生まれることがあります。
- ・PI牛は外見上は正常ですが、生まれながらにBVDウイルスに感染しており、生涯にわたり大量のウイルスを排出し続ける牛です。

PI牛は知らない間に農場内の感染源になっています。

- ・発育不良
- ・慢性の下痢や呼吸器症状
- ・粘膜病を発症すると高い確率で死亡します。治療法はありません。



PI牛

- ・外見に異状はなく、分娩・出産することもあります。子牛は必ずPI牛として生まれます。



PI牛

### ●対策

- ・ワクチン接種による予防
- ・まん延防止対策(血液検査によりPI牛を早期発見し、牛群から淘汰)

千葉県ではBVD-MDのまん延防止のため、バルク乳を使用してPI牛を摘発していく事業を実施します。

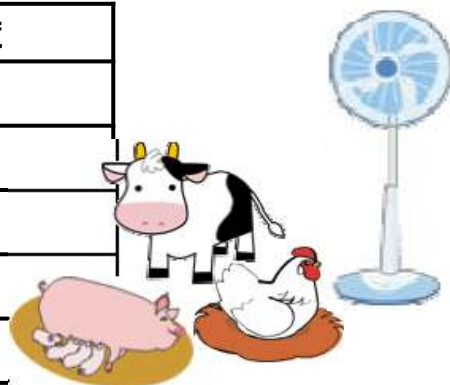
事業についての説明会日程は下記のとおりです。

| 日にち      | 時間          | 場所                    |
|----------|-------------|-----------------------|
| 5月27日(金) | 11:00～12:00 | 北部家畜保健衛生所 会議室         |
| 6月1日(水)  | 13:30～      | 中央家畜診療所 研修室           |
| 6月3日(金)  | 13:30～      | 千葉地域農林業センター 2F会議室     |
| 6月3日(金)  | 13:30～      | 安房合同庁舎 大会議室           |
| 6月7日(火)  | 13:30～      | 市原市農業センター 農業研修施設 大会議室 |
| 6月7日(火)  | 13:30～      | 香取市山田公民館 2階 研修室2      |
| 6月8日(水)  | 15:00～      | 横芝光町文化会館 視聴覚室         |
| 6月9日(木)  | 13:30～      | ちば東葛農業協同組合 関宿支店 2F会議室 |

# 暑熱対策は万全ですか！？

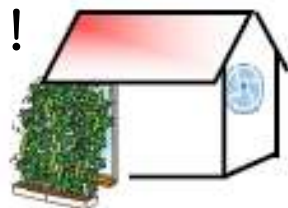
5月に入って、25℃以上の気温を観測する日が多くなっています。暑熱は食欲低下、繁殖障害の原因となり生産性を低下させます。暑熱対策を適切に実施し、今年も暑い夏を乗り切りましょう！

| 家畜種 | 暑さで生産に影響を及ぼす温度 |
|-----|----------------|
| 乳牛  | 24～29℃         |
| 肉牛  | 30～32℃         |
| 豚   | 25～30℃         |
| めん羊 | 29～32℃         |
| 鶏   | 30～33℃         |



## ○飼育環境を改善して体感温度を下げましょう！

- ・密飼いを避け、イライラと体感温度の低減
- ・畜体への散水、散霧（ミスト）、毛刈り
- ・換気扇による送風、換気  
（風速1m/秒で体感温度は1度下がる）
- ・遮光ネットやよしず、植物による日よけ（特に西日）
- ・屋根裏への断熱材の設置、屋根への石灰塗布、スプリンクラー



## ○飼料と水の給与に気をつかきましょう！

- ・良質で消化率の高い飼料を給与
- ・冷たい水を、いつでも十分飲めるようにする
- ・給水器の点検も！
- ・涼しい時間帯に飼料給与し、同時に給与回数を増やす
- ・必要に応じビタミンやミネラルを給与し、栄養不足を補う



## ☆作業者の熱中症にも注意しましょう！

- ・こまめに休憩をとったり、水分・塩分を補給するなど、作業員自身の熱中症も予防しましょう！



暑熱対策の具体的な事例が(公社)中央畜産会のホームページで紹介されています。ご参照ください。⇒ <http://jlia.lin.gr.jp/seisan/>

# 6月1日は一斉消毒の日です！！

☆飼養衛生管理を見直す機会にして、農場を守りましょう！

1. 出入口の消石灰散布
2. 踏込み消毒槽の薬液交換
3. 来場者の記録
4. 立入者の衣服・長靴の交換確認
5. 畜舎周囲の整理・清掃